opusdei.org

神のやさしさ(III):神の開かれた心。慈しみと使徒職

キリストの歴史に対する支配 はいつくしみによるもので す。イエスは、私たちキリス ト者が、いつくしみを世に示 すことを望んでおられます。

2023/05/18

イエスは「わたしの国はこの世のものではない」と、ユダヤ人の非難に関するピラトの質問にお答えになります。主は確かに王ですが人の世で

言われているような王ではないので す。「わたしの国はこの世には属し ていない。もし、私の国がこの世に 属していれば、わたしがユダヤ人に 引き渡されないように、部下が戦っ たことだろう。しかし、実際、私の 国はこの世には属していないし[1]。 少し前にゲッセマニでペトロに剣を 鞘に納めるように諭された時同じよ うなことを言われました。「わたし が父にお願いできないとでも思うの か。お願いすれば、父は十二軍団以 上の天使を今すぐ送ってくださるで あろう | ^[2]。神は、人間の武器の強 さで世に立ち入ろうとなさるのでは ありません。そうではなく「心の思 いや考えを見分けることができるみ 言葉の両刃の剣」^[3] で、そうされる のです。イエスは「勢力範囲を広げ ようと戦うのではありません。囲い を破り、確実性を問題視されるの は、御父と聖霊ともども地上にもた らそうと望んでおられる神の慈しみ の奔流に突破口をあけるためなので

す。最高の善からほとばしり出る神の御憐れみは、新たなことを告げ、 それをもたらして、心を癒し、自由 にし、主の恵の年を宣言します」

心を見る神

「あなたがたには世で苦難がある。 しかし、勇気を出しなさい。わたし は既に世に勝っている、ego vici mundum」「。晩餐の高間でのイエスの司祭としての祈りは、あらずる 時代の弟子たちを励ます祈りでする。 福音書には主の勝利が宣言されてる。 るとしても、神が失敗すると思える ほどの大きな困難に遭遇します。 Christus vincit, しかしこれは人間の 論理にはそぐわない神の計画です。

「わたしの思いは、あなたたちの思いと異なり、わたしの道はあなたたちの道と異なる」 __。

「この国々の一切の権力と繁栄とを 与えよう。それは私に任されてい

て、これと思う人に与えることがで きるからだ」^[7]。悪魔はイエスに、 地上の諸国と、その領土や栄華をこ の世の管理を诵して人間を自分の意 志に服従させた結果として示したの ではありません。悪魔は、私たちが 毎火曜日に黙想している詩篇||の御 子に対する御父の「求めよ。わたし は国々をお前の嗣業とするししと言 う約束を歪曲して世俗的な苦難なし の救いを提案します。しかし「イエ スは、世を救うのは、この世的な力 ではなく、十字架、謙遜と愛の力で あることを明確にされます | ^[9]。イ エスは、誘惑を退けられた時、全て のキリスト信者のため同じ道を示 し、人間には愚かなように思えると しても、主こそ歴史の主であること が垣間見られるようにしてください ます。神はいつくしみをもって支配 されるのです。主の国がこの世のも のではないなら、その慈しみもこの 世的ではありません。しかし、それ ゆえ「高い所から | ^[10] 訪れるので世 を包み込み、世を救うことができる のです。

「人は目に映ることを見るが、主は 心によって見る」[11]。神は、形式的 で中身のない従順そうな態度に対し てなす術を持たない方です。主は一 人ひとりを捜し各人の戸口でお呼び になります^[12]。「わが子よ、あなた の心をわたしにゆだねよ。喜んでわ たしの道に目を向けよ」^[13]。これが 神の支配です。ですから、私たちを 穏やかにしようと、幸せへの熱望を 抑圧するのではありません。この幸 せへの熱意は主なしには死であるこ とを、私たちに認識させようとお望 みだからです。

「わたしが彼らを呼び出したのに、彼らは私から去っていき」と主は預言者ホセアを通して嘆かれます__。けれども、人間が神の呼び掛けに抗うことができるとしても、キリスト信者なら、最終的にほんの僅かでも

心を神に開くなら、命の道が開かれ ることを知っています。そして私た ちは神の疲れ知らずの愛に屈服する のです。神のいつくしみは「常に進 み続けるいつくしみとして、日々前 進していこうとするいつくしみ、だ れも足を踏み入れない、無関心と暴 力がはびこるところに入っていく小 さな一歩としてのいつくしみですし [15]。ですから、使徒職は信仰から生 まれ、静けさに覆われています。 「キリスト者の什事、それは、否定

1キリスト者の仕事、それは、否定的なキャンペーンをしたり、何々反対を叫んだりすることではない。そうではなくて、楽観に溢れ、若さと喜びと平和に満ちて、肯定をモットーに生きることである」[16]。

神の愛で愛する事

「群衆が飼い主のいない羊のように弱り果て、打ちひしがれているのを見て、深く憐れまれた」[17]。神は人々を、悲嘆にくれたまなざしでは

なく、いつくしみに満ちたまなざし でご覧になります。そして、ご自分 の子どもたちを诵して全ての人に関 わることをお望みです。「わたした ちに与えられた聖霊によって、神の 愛がわたしたちの心に注がれている からです」[18]。主は、私たちを神の 愛にどっぷりと浸って生きることが できるようにして下さいます。これ こそ、神が後の世につながる今この 世でも与えようとお望みの生き生き とした環境、家族の雰囲気なので す。創立者が言っています。「私た ちの愛を単なる仲間意識や感傷とな い交ぜにするわけにはいきません。 言うまでもなく、優越感を味わいた いがために他人を助けるという、不 明瞭な野心とも異なります。 (…) まわりの人たちと手をとり合って生 きること、人々のうちにある神の像 を尊重すること、さらには、人々が みずからの中に神の像をみつめ、キ リストに近づけるよう、助けてあげ ること | ^[19]。と言うことで、神にす

べてを委ね、神が私において生き、 私を通して愛するように、私が神の 愛で愛することです。

「神の愛。それは確かに愛をことご く捧げる値打ちのある愛である| ^[20]。創立者はここで、無限に広い神 のみ心と、小さな、しかし偉大なこ とに着手できるまでに広がり得る人 間の心を眺め感嘆していました。神 の愛は、主に満たされ、いつくしみ を両手いっぱいに受けられるように 全存在を傾ける値打ちあるもので す。これは、大らかになり、高みを 目指すようにと言う招きに他なりま せん。それは、日常生活のありふれ た事柄に潜んでいることにおいてな されることです。「あわれみ深い心 は弱い心ではありません。あわれみ 深くなりたい人は皆、強く揺るぎな い心、誘惑者を退け、神に開かれた 心を持っています。聖霊に動かされ る心、さらには兄弟姉妹に対する愛 の道を歩むのです。それはつまり、

貧しい心、すなわち自分の貧しさに 気づき、自分を他者のためにささげ る心なのです」^[21]。

他者の土地では履物を脱ぐ事

心が貧しいとは、貧しい心のことで はありません。「貧しさを自覚して いる」人は神の愛を存分に頂くこと が出来ます。「神は、私たちと共に 苦しみます。神は、私たちの十字架 を担うために人となられました。そ れは、私たちの石の心を変え、他者 の苦しみを自分のものにするように と望まれたからです。私たちに『人 としての心』を与え(…)他者に同 情し、癒し救う愛に導くようお望み なのです」[22]。すると私たちは、単 に教えなければならないことがある 人にだけではなく、たくさん学ぶべ きことのある人にも近づくはずで す。

他者から受けることが多ければ多い ほど、神が心に植え付けられた全て の事を光り輝かせることになるのです。本当に語り合うのは心と心ですーcor ad cor loquiturーと、福者ジョン・ヘンリー・ニューマンが言っていました[23]。「他者という聖なる土地で自分の履物を脱ぐ」[24]人は、彼に驚かれるままになる人であり、本当に彼を助けることが出来ます。

現代のキリスト者は、非常に違う状況の人たちと出会います。本当手にと出会いるがならなられて他者に近づくな神のを超える神のを超える神のを超えるがます。からすったの跡をもたらなります。にしての跡を実がに、信仰を事に、ではいます。初聖体後しばらるのでは、ある後しなが、ない生活を続けたとか、ある後に信心生活を続けた後、生温さの誘惑とかには、生温さのでしょう。

他に多くの場合、親しい語り合いの中で、一度も神のことを聞かなかった人の場合もあります。多分最初は、相手の自由を束縛するのを恐れて、遠回しな話し方をする人もいるかもしれません。

神の子としての私たちの落ち着きは、いつものように素晴らしい武器 になるでしょう。「主において常に 喜びなさい。重ねて言います。喜び なさい。あなたがたの広い心が全て の人に知られるようになさい。主は すぐ近くにおられます| [27]。神のい つくしみによって私たちはイエスの ように全ての人を迎え入れることが でき^[28]、またイエスのように全ての 人に迎えられるようになっているの です[29]。人々と共に過ごし、彼らの 困惑を共有し、問題を見逃さないこ とです。そして、彼らが自分のいる 所で、視野を広めるように努め、助 けを続けながらしっかりとしかし丁 寧に要求すること。

「キリストに一致する教会は、傷ついた聖心から誕生する。その寛い聖心から命が伝わってきます」 [30]。本物の使徒職は全て、常にゆるしのが強の使徒職でもあります。他者が神のいつくしみが溢れ出ていることです。経験するよう助けることです。神は、放蕩息子の父親のように、私たちを親として抱擁しようと望んで、

私たちを清め、主と他者をみつめる ことができるようにしてくださるの です。

「理由がなんであれ主から離れてし まったのなら、謙遜な心で主のもと に戻り、ふたたび始めなさい。毎日 あるいは24時間中何度も、放蕩息子 の役を演じるのです。神愛の真の奇 跡である告解の秘跡によって、心を 洗い清めなさい。このえも言われぬ 秘跡において、神はあなたの心を清 め、戦いにひるむことの内容、ま た、たとえ暗闇に迷ったようになっ た時でも疲れに負けず神に立ち戻る ため、喜びと力を十二分に与えてく ださいます。その上、神の御母であ り私たちの母であられる聖母が母親 特有の優しい心であなたを守り、足 もとを固めてくださいます」^[31]。

それを言うことは不要なことのよう に思えますが、しかしそうでないこ とを私たちは知っています。特に神

のいつくしみの対象になるのは信仰 における私たちの兄弟です。「目に 見える兄弟を愛さない者は、目に見 えない神を愛する事ができません| ^[32]。私たちの使徒職の第一の対象 は、私たち自身の家族で、神の家、 つまり教会を形成している人々の間 でなされるはずです。使徒職の熱意 があると言っても、もし他のキリス ト者に無関心ならそれは偽りです。 ですから、時々、ごく親しい人々と の共同生活に起こり得る事に慣れて しまうこと、自然な傾きから作り出 してしまう人々との距離、あるいは 日々の小さな緊張感などに打ち勝つ ことが必要になります。「キリスト に従う初代の信者は、何と深く愛し 合っていることかと噂されていたで はないか。あなたも私も、四六時 中、同じように言ってもらえるだろ うか」[33]。神は、神のいつくしみの 奔流^[34] のためキリスト者の兄弟愛に 期待しておられます。それは聖霊の 力で人々の間に道を開かせるためで

す。そして世界は御父が御子を愛したように私たちを愛したことを理解するようにと御子を遣わされたのです^[35]。

Carlos Ayxelá

- ^[1] ヨハネ18,36。
- [2] マタイ26,53。
- [3] ヘブライ書4,12。
- ^[4] フランシスコ、2016年3月24日説 教。
- ^[5] ヨハネ 16,33。
- [6] イザヤ 55,8。
- ^[7] ルカ 4,6。
- ^[8] 詩篇2,8。

- [9] ベネディクト16世、年月日一般謁 見。
- [10] ルカ1,78。
- ^[12] 黙示録 3,20参照。
- [13] 箴言23,26。
- ^[14] ホセア11,2。
- ^[15] フランシスコ、2016年3月24日聖 香油ミサの説教。
- [16] 『拓』864番。
- ^[17] マタイ9,36。
- $^{[18]} \Box 75,5$
- [19] 『神の朋友』230番。
- [20] 『道』171番。

- [21] フランシスコ、2014年10月4日 2015年四旬節メッセージ。
- [22] ヨゼフ・ラッチィンガー枢機卿、 2005年3月25日十字架の道行の紹介。
- ^[23] 福者が枢機卿に任命された時の モットー。
- ^[24] フランシスコ、2013年11月24日 使徒的勧告「福音の喜び」169番。
- ^[25] フランシスコ、2016年2月16日講 話。
- [26] フィリッピ 4,7。
- ^[27] フィリッピ4,4-5。
- [28] マタイ9,10-1;ヨハネ4,7参照。
- [29] ルカ7,36;19,6-7参照。
- [30] 『知識の香』169番。

- [31] 『神の朋友』214番。
- [32] ①ヨハネ4,20。
- [33] 『拓』921番。
- 二 フランシスコ、2014年3月24日説 教参照。
- ^[35] ヨハネ17,23参照。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/ Kami-noyasashisa-iii/ (2025/12/12)